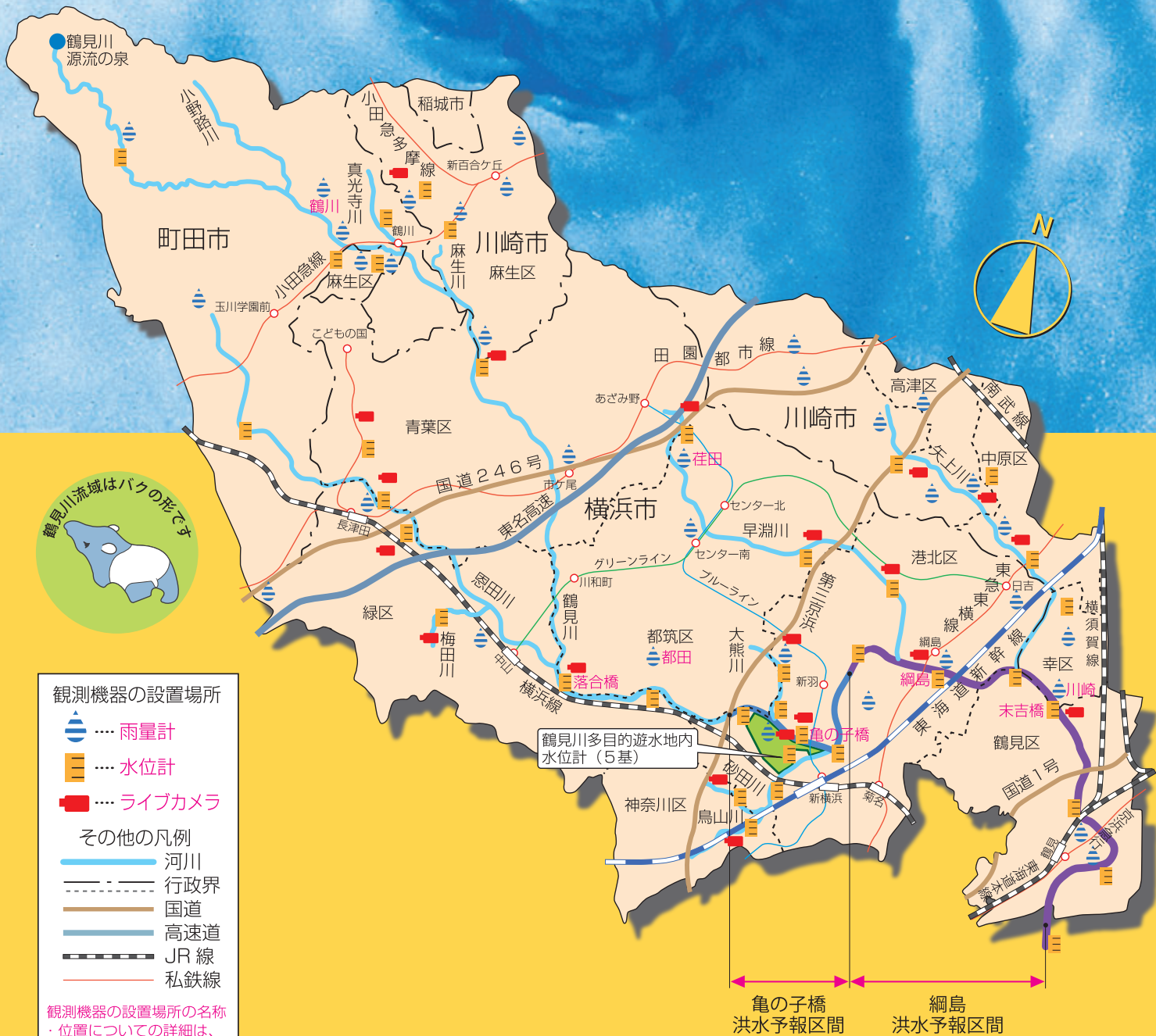


水害から 自分を守る 地域を守る

鶴見川の防災情報利用ガイド



観測機器の設置場所

- 雨量計
 - 水位計
 - ライブカメラ
- その他の凡例
- 河川
 - 行政界
 - 国道
 - 高速道
 - JR線
 - 私鉄線

観測機器の設置場所の名称・位置についての詳細は、京浜河川事務所のホームページか鶴見川流域センターにお問い合わせください。

鶴見川多目的遊水地内水位計 (5基)

亀の子橋 洪水予報区間 網島 洪水予報区間

「昔のはなし」ではない！

鶴見川の“次の大災害”は、明日のことかもしれない!?

■ 鶴見川の特徴

鶴見川は支川が多く、大きく蛇行している箇所も多いことから、特に中流から下流にかけての沖積地は洪水が起きやすい地形となっています。また流域の急激な市街化に伴う鶴見川への雨水の集中による水位上昇に対応するため、国では昭和50年代から東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市とも連携しながら、流域のさまざまな治水対策を進めてきました。



●川崎市長空から港北区方面を見ると、鶴見川下流部の蛇行の大きさがわかる

今日までしゅんせつや堤防のかさ上げ、雨を一時的に貯める調整池の整備、保水機能のある緑地の保全など、水害防止のためのあらゆる対策を進めてきた鶴見川ですが、今後はもう安心かといえれば残念ながらそうではありません。

記憶に残る水害で最大のものは、約2万戸が床上、床下浸水となった昭和33年の台風第22号（狩野川台風）ですが、55年前の当時と比べて流域人口は45万人から、4倍を超える約190万人に達しています。流域の急速な都市化で森林や田畑が激減したこともあり、今や流域面積の85%が市街化されています。このことが流域の保水力の低下に

つながり、上流で降った雨が下流に到達する時間が非常に早く、加えて近年の台風の大型化の傾向や、通称“ゲリラ豪雨”と呼ばれる予測の難しい局地的大雨などの気象の変化を重ねて考えると、むしろ鶴見川の災害リスクはさらに高まっているといえます。



●局地的大雨（ゲリラ豪雨）の例 平成 23年8月26日 矢上川矢上橋



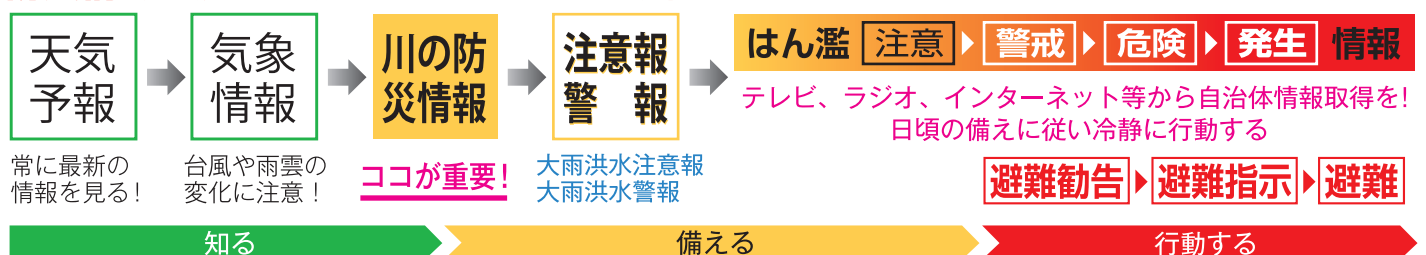
●狩野川台風時の鶴見区内の浸水の様子（神奈川新聞社 撮影）

■ 水防災で大切な役割を担う“川の防災情報”

日常生活で見落とされがちなのが、「川の防災情報」です。

下図に示したように台風接近の場合などで、洪水に備えるには、川の状態を知ることが、とても重要なのです。

防災情報の流れ－洪水に備えるには“川の情報”を知る



※はん濫に関する情報は、第三京浜道路から下流の鶴見川本川沿いの地域を対象に発表されます。

川の防災情報活用術 —リアルタイム情報をくり返しチェックし、洪水に備えることが重要

台風やゲリラ豪雨により鶴見川の水かさが増し洪水の危険が迫る前に、自ら情報を入手し水害に備える“4つのリアルタイム情報”の活用を紹介します。

4つのリアルタイム情報

Point

●常に最新に情報を入手し、4つの川の防災情報をくり返しチェックすることがとても大切です。



■自分でできる川の防災情報の入手方法 —川崎版—

リアルタイム情報の利用方法として、国土交通省のホームページ「川の防災情報」を使って説明します。同じ情報を他のホームページからも入手することができますので、日頃から試してみて、自分で最も使いやすいものを利用してください。

●このガイドで説明する情報メディアのアイコンです。



- TV** NHK データ放送 リモコンボタン [d] ボタン → デジタル放送トップ → 河川水位雨量情報 → 雨量 / 水位
- ☎** ダイヤル 045 - 503 - 1648 → 音声ガイダンス → 「3」をプッシュ → 雨量：鶴川/荏田/都田/川崎 / 水位：落合橋/亀の子橋/末吉橋/綱島
- PC** 検索 川の防災情報 → ●レーダ雨量 (Cバンド・XRAIN) / 雨量・水位 / ●洪水予報 / ●水防警報
(注：XRAINは携帯電話での利用はできません)
- PC** 検索 神奈川県 雨量水位情報 → 雨量 / 水位 / ライブカメラ
- PC** 検索 川崎市 防災気象情報 → ●レーダ雨量 / 雨量 / 水位 / ライブカメラ
- PC** 検索 京浜河川事務所リアルタイム情報 → 雨量 / 水位 / ライブカメラ
- ☎** 検索 ケイヒンモバイル → ●レーダ雨量 / 雨量・水位 / ライブカメラ

■メール登録による情報の自動配信サービス

PC 検索 メールニュースかわさき 京浜河川マルチコール

自分が必要とする情報を選択して登録すれば、雨量や河川の水位などに応じて、パソコンや携帯電話にメールが自動配信されます。

登録用 QR コード

QRコード対応の携帯電話、スマホで右のQRコードをそれぞれ撮影すると、簡単に防災情報のサービス登録サイトにアクセスできます。



メールニュース
かわさき

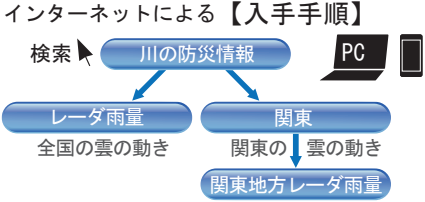


京浜河川
マルチコール

4つのリアルタイム情報 その1 雨の強さ

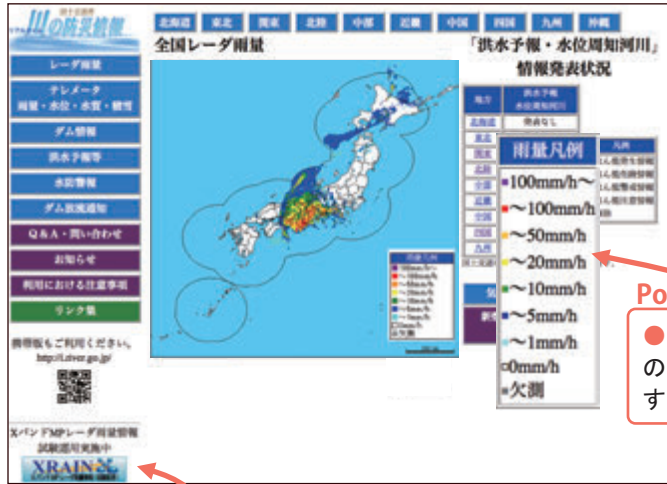


Cバンドレーダを見よう! 5分間隔で更新。雨雲の大きな動き、と覚える。



Cバンドレーダは、1 km メッシュで、5分毎に雨の強さを計測しています。

履歴画像は5分刻みで3日前の午前0時までさかのぼって見ることができるので、大まかな雨雲の動きをつかむのに適しています。



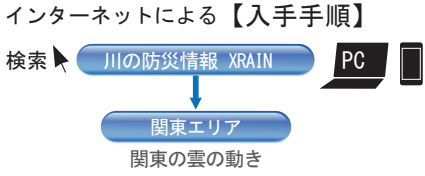
Point

●凡例を見ながら強い雨の範囲や動く方向に注意することがポイントです。

●平成24年9月30日 14 : 00 のCバンドレーダ画面

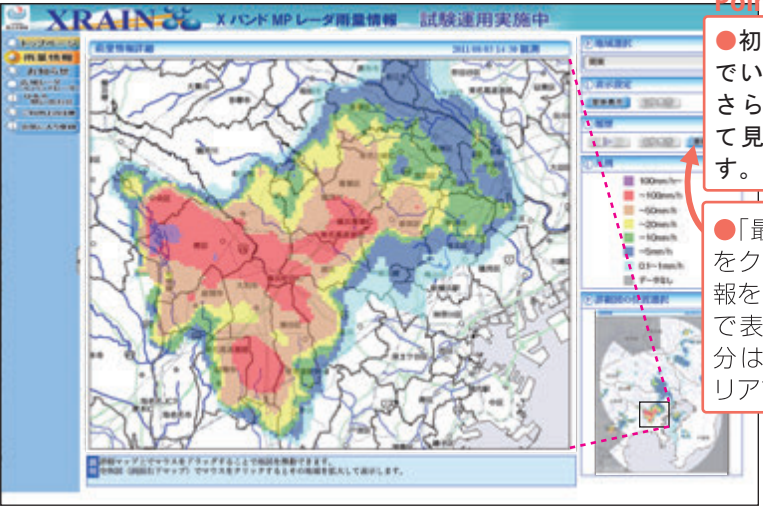
川の防災情報画面下段からXRAINにジャンプできる。

XRAINを見よう! 1分間隔で更新。直近の雨をとらえる、強い味方。



XRAIN (XバンドMPレーダ) は、250m メッシュで1分毎に雨の強さを計測しています。

台風やゲリラ豪雨の間近に迫る雨雲の変化を高い精度で捉えることができます。



Point

●初期画面から住んでいる地域を選べば、さらに地図を拡大して見ることが出来ます。

●「最新時刻」ボタンをクリックし、最新情報を! —なおグレーで表示されている部分は、観測不能なエリアです。

●平成23年8月3日 14 : 30 のXRAIN画面 —南海上から接近する台風第9号の影響で、急激に発達した前線による豪雨が京浜地区を通過。こうした時々刻々の雨雲の動きをXRAIN がキャッチ。

コラム ゲリラ豪雨とは

非常に狭い地域に短時間で驚異的な強さで降る局地的大雨のことを、通称 “ゲリラ豪雨” と呼んでいます。

●雨の強さのめやす

<p>やや強い雨 (ザーザーと降る)</p> <p>時間雨量 10~20 mm</p> <p>この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。</p>	<p>強い雨 (どしゃ降り)</p> <p>時間雨量 20~30 mm</p> <p>側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。</p>	<p>激しい雨 (バケツをひっくり返したように降る)</p> <p>時間雨量 30~50 mm</p> <p>山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。</p>	<p>非常に激しい雨 (滝のように降る)</p> <p>時間雨量 50~80 mm</p> <p>都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。</p>	<p>猛烈な雨 (息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる)</p> <p>時間雨量 80 mm以上</p> <p>雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。</p>
---	--	--	---	---

4つのリアルタイム情報 その2 雨の量

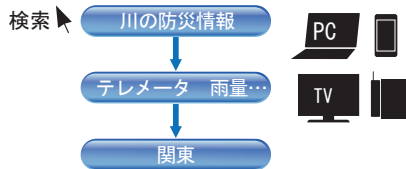
雨がだいぶ長い間降ってるなどのくらい降ったんだろ？



雨量計を チェック!

その場所ごとに降った雨量を知り、増水に備える。

インターネットによる【入手手順】



雨量はその場所に降った0分毎のデータが表示されています。

地域選択

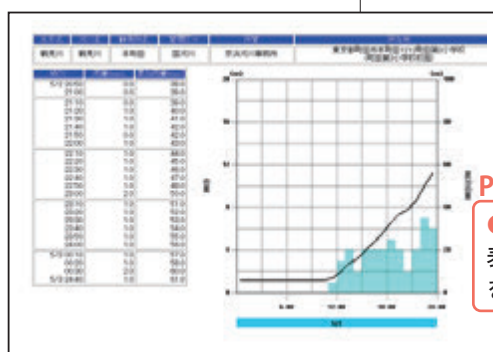
- 国別レーザ雨量 (国単地方)
- 地方選択
- 住所・電話番号から地域を検索する
- 河川名・観測所名から観測所を検索する
- Q&A・問い合わせ
- トップに戻る

観測所選択 (神奈川県・国)

- 全国
- 北海道
- 東北地方
- 関東地方
- 北陸地方
- 中部地方
- 近畿地方
- 中国地方
- 四国地方
- 九州地方
- 沖縄地方

Point

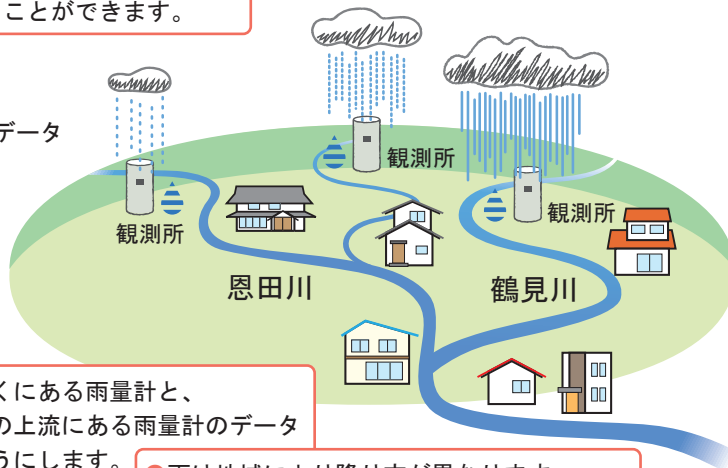
●関東エリアのページからお住まいの地域をクリックすると、観測所のガイドマップが表示され、その中から観測所を選択します。



●テレメータ雨量 本町田（ほんまちだ）
平成24年5月2日20:50 ~ 5月3日00:40 のデータ

昭和33年の狩野川台風では、鶴見川の流域全体を平均して、2日間で343mmの雨量でした。また、時間最大雨量は流域平均で61mmでした。

このような過去の大雨のデータは、台風などに備える上でとても参考になります。



コラム 雨量計とレーダ雨量計の違いは？

地上に降った雨の水かさを直接計測するのが雨量計で、10分ごとに計測しています。一方、レーダ雨量計は、雨の強さを電波を利用して間接的に計測する機器で、雨の強さは、現時点の降雨が1時間続いたと想定した場合の数値（単位：mm/h）で表されます。

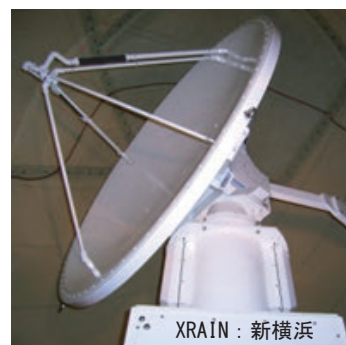
●転倒ます型雨量計

口径20cmの「受水器」に入った雨水を転倒ますに注ぎます。転倒ますはシーソーのような構造になっていて、雨量に応じてシーソーが倒れます。その転倒数で雨量を計測します。



●レーダ雨量計

回転しながら少しずつ角度を変えるパラボラアンテナから、電波を放射し、雨滴に当たって返ってきた電波を受信して、その往復時間から距離を、アンテナの向きから方位を、電波の強さから雨の強さを測定します。



4つのリアルタイム情報 その3 水位

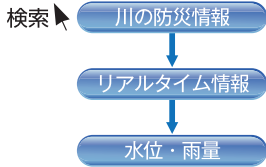
10分間隔で更新。川の上流から下流へと連続で見よう。



いよいよ
台風が上陸だ
川の増水に
注意しなければ！

水位計を
チェック！

インターネットによる
【入手手順】



各観測所では 10 分毎の
水位を計測しています。

Point

●こちらが水位データです。

地方選択
○簡易地図から指定 (地域選択)

現在レーダ雨量 (全国)
住所・電話番号から地域を検索する
河川名・観測所名から観測所を検索する
Q&A・問い合わせ
Topに戻る

地域選択
○地図から指定 (地域選択)

現在レーダ雨量 (関東地方)
地方選択
住所・電話番号から地域を検索する
河川名・観測所名から観測所を検索する
Q&A・問い合わせ
Topに戻る

観測所 テレメータ水位 亀の子橋(かめのこばし)

観測時刻: 2013/01/28 02:00

河川	河川名	観測所名	管轄区分	所管	位置	所在地	標高
鶴見川	鶴見川	亀の子橋	国営河川	京浜東北線事務所	石狩1.83km	神奈川県横浜市磯区小倉町 (亀の子橋) (標高約90m)	7.8.0000m (標高約2000m)

時刻	水位 (m)	項目
127:03:00	0.40	観測値
08:00	0.34	水位
05:00	0.39	水位
02:00	0.32	水位
01:00	0.31	水位
00:00	0.27	水位
99:00	0.34	水位
98:00	0.46	水位
97:00	0.41	水位
96:00	0.39	水位
95:00	0.44	水位
94:00	0.38	水位
93:00	0.43	水位
92:00	0.38	水位
91:00	0.42	水位
90:00	0.46	水位
89:00	0.40	水位
88:00	0.42	水位
87:00	0.43	水位
86:00	0.44	水位
85:00	0.43	水位

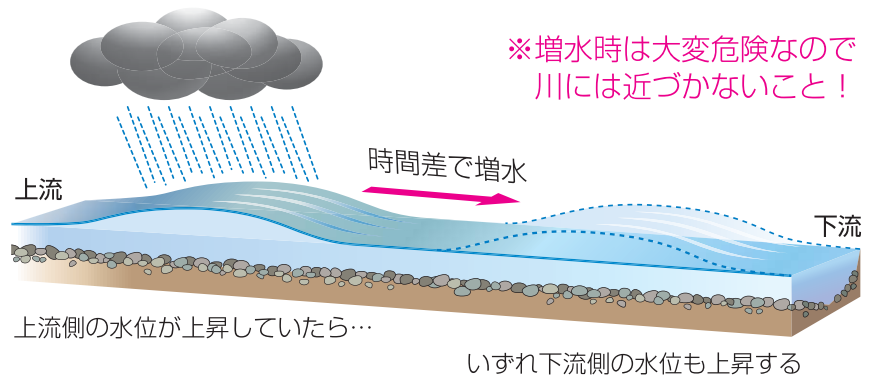
Point

●この水位がどのレベルにあるかを見ます。水位は少しの雨でも変化するので、日頃から見方に慣れておくと、いざという時に安心です。

河川の水位情報の上手な使い方

鶴見川は、亀の子橋付近までは、潮位の干満の影響を受け、絶えず水位が変化しています。平常時に近くの観測所の水位計を見ておき、洪水時の川の様子をイメージしておいてください。

そして、洪水の時には、家や職場近くの川の水位だけでなく、上流側の複数地点の水位を確認します。上流の水位変動が川を流れ下り、近くの川まで伝わってくることをデータで実感してください。

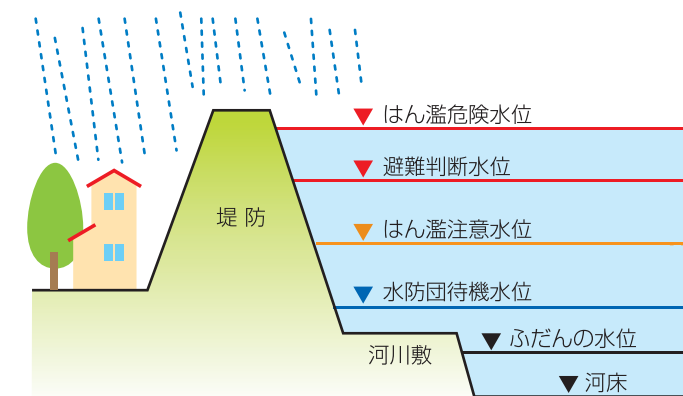


※増水時は大変危険なので
川には近づかないこと！

コラム 洪水予報発表の基準となる水位

洪水予報発表の種類

- ★ はん濫発生情報
- ↑ はん濫危険情報
- ↑ はん濫警戒情報
- ↑ はん濫注意情報
- ↓ はん濫注意情報解除



●洪水予報とは
河川の増水やはん濫に対する水防活動のため、気象庁と国土交通省が共同して、あらかじめ指定した河川について、区間(洪水予報区間という)を決めて水位または流量を示した洪水の予報を行います。
※鶴見川では、第三京浜道路から下流の鶴見川本川沿いの地域を対象に発表されます。

- はん濫等により重大な災害が起こる恐れのある水位。市区町長の避難勧告、住民の避難判断の目安となる水位。
- 市区町長の避難準備情報、避難に時間を要する方の避難判断の目安となる水位。
- 水防機関が出動する目安となる水位。
- 水防機関が待機・準備するための目安となる水位。

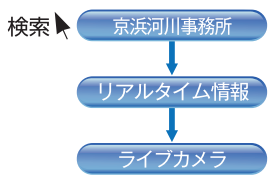
4つのリアルタイム情報 その4 川の様子

ライブ映像は、家に居ながら川の様子がわかる。



ライブ映像をチェック!

インターネットによる
【入手手順】



ライブ映像は、静止画を10分間隔で更新しています。



●ライブカメラは、鶴見川流域の川沿いに28基設置されています。家や職場の近くの川から上流にあるカメラのライブ映像を連続してチェックすれば、流域全体の様子がつかめます。

●京浜河川事務所のホームページで、多目的遊水地への流入状況をライブ映像で確認することができます。

*国土交通省のホームページ(川の防災情報)には、ライブ映像は掲載されていません。ライブ映像の入手方法は、3ページをごらん下さい。

川の防災情報を使いこなすためには

- 洗濯物を干す時に
- 地域の行事、イベントの開催時に
- 外出先での急な雨に



- 通勤・通学・買い物時に
- 防災学習、防災訓練に...など

防災情報は、必要になったその時にあわせて入手しようとしても、使いこなせるものではありません。日頃から何かにつけてアクセスすることで、有効な使い方や自分と地域に最もふさわしい情報がわかってきます。雲行きが怪しい時や急に降り出した激しい雨などで「ちょっと調べてみよう」という“ふだん使い”で慣れておくことで、本当に危険が迫った時に情報が自分や家族を守り、地域を守ることに繋がります。

このガイドについての詳しいご案内・お問い合わせもどうぞ!

地域防災施設 鶴見川流域センターのご案内

流域にすむ生き物や植物の展示、川について学べるイベントも豊富で、鶴見川の歴史や環境、防災について知ることができます。ご家族で楽しめますので、お気軽にお出かけください。

〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 2081
Tel: 045-475-1998 Fax: 045-475-1999
●開館時間: 午前10時～午後5時 ※入館料無料
休館日: 毎週火曜日及び年末年始
●交通: JR 横浜線 小机駅～徒歩6分 / 新横浜駅～徒歩20分



洪水ハザードマップ 「いざ!」という時にあわてないために

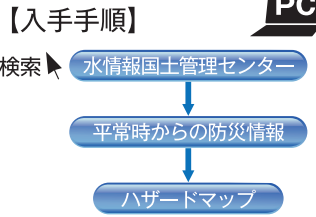


●洪水ハザードマップには、次の内容が示されています。
 ・大雨時に危険な場所（浸水の予想される地域）／・危険の程度（想定される浸水深）／・避難場所、避難経路等の災害対応のための情報など

万が一の水害時に、避難するために必要な情報が掲載されているのが、「洪水ハザードマップ」で、市区役所が作成・発行しています。

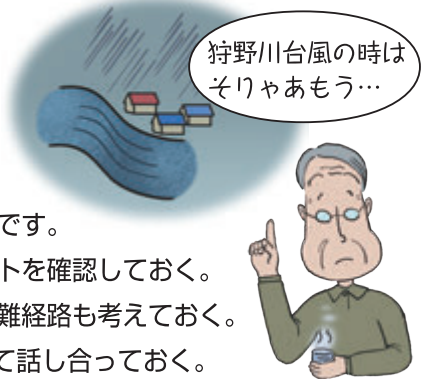
図に描かれた浸水範囲や深さは、2日間雨量で約 405 ミリの大雨（150 年に 1 回降ると想定される降雨）により、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合を想定し、国土交通省が計算したものです。

洪水ハザードマップで確認!



国土交通省「水情報管理センター」のトップページ

●洪水ハザードマップは、お住まいの区や市の窓口でも配布しています。入手する際は事前に電話で確認の上、窓口に行かれることをお勧めします。



日頃の準備を怠りなく!

- ・まずは住んでいる地域の洪水ハザードマップに目を通すことがはじめの一步です。
- ・洪水ハザードマップ、道路地図などで自宅と避難場所の位置関係や避難ルートを確認しておく。
- ・洪水で避難場所まで予定していたルートが使えなくなった場合の、第2の避難経路も考えておく。
- ・お年寄りの体験を聞く、家族や近隣、職場の仲間と、避難や連絡方法について話し合っておく。

安全に避難するには—— 避難勧告 避難指示



●避難勧告や避難指示が出たら、あらかじめ用意しておいた非常持ち出し袋を持って動きやすい服装で行動しましょう。

放送、広報に注意し、テレビ、ラジオをつけておく



●雨の降り方で洪水の状況は変わります。このガイドを利用しながらも、安易に判断せずに防災機関からテレビ、ラジオ等を通じて発信される情報に耳を傾け、助け合い、落ち着いて、安全に行動してください。



●避難所までの道路が浸水していた場合は、無理をせず近くの高台や丈夫な建物に一時的に避難しましょう。

発行：鶴見川流域水協議会
 協力：横浜市鶴見区役所・駒岡地区連合会・横浜市港北区役所・新羽町連合町内会
 ●制作：国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所流域調整課
 〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 2-18-1
 TEL.045-503-4009